

# 令和7年 1 2月の大阪森林便り



## 「ナラ枯れ」北海道で拡大

温暖化で北上、原因虫が越冬か 駆除追いつかず伐採も

\*ミズナラやカシワなどナラ類の樹木が虫に浸食されて枯れる「ナラ枯れ」が北上し、北海道に急速に広がっています。

\*専門家は地球温暖化で原因虫が越冬できるようになったと指摘。

\*ナラ枯れになる前に木材を伐採して活用する試みも。

\*北海道南部2市9町で1637本の被害木が確認されました。

\*2023年度は2町で15本、昨年度は3町で213本と、被害は急速に拡大。

\*北海道に自生するナラ類は森林にある樹木の総量の約7%。

(2025年11月25日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## 12月の木の話

### 枠組壁工法（ツーバイフォー工法）の特徴

\*枠組み壁構造は北米で開発され日本に導入された木造建築工法。

\*木製の枠組みに構造用合板などを打ち付けたパネルを、釘打ちや専用の補強金物で接合。

\*多種多様な接合用の金物が必要。

\*建て方は、基礎・土台→1階床組み→1階壁組→2階床組み→2階壁組→小屋組みの順に行われるのが一般的。

\*2階床を作った後、作業場として2階部分の工事ができるという施工上のメリット。

\*屋根の施工が最後になるため、雨の多い日本では工事中の床の養生に注意が必要。

\*組み立てるのに特別の技術を要しないので、工期が早くなります。

\*耐震性・断熱性・気密性に富み、石膏ボードを張ることによって、火災に対して一定の耐火性能を得ることもできます。

(木材利用システム研究会 木力検定委員会 木力検定 木を学ぶ100問より抜粋引用)